平成30年度　指導と評価の年間計画

（大阪府立西淀川高等学校　全日制の課程　普通科）

科目（教科）	単位数	学年	教科書名（出版社）	副教材名等（出版社）
化学基礎(理科)	2	3	新編　化学基礎（啓林館）	なし
担当者より	まずは2学年で学習した化学をベースに、中和、酸化と還元という単元を学習します。また、その後は生活に密接に関わっている有機の範囲を学習します。2年で学んだことがより複雑化していき、定義なども増えてくるので、しっかりとテスト勉強をしましょう。また、日ごろのプリント提出、授業態度にも気をつけましょう。			

到達目標【学習指導要領】	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を持ち、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
①関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	授業態度、課題提出
②思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	課題提出、考査
③観察・実験の技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	授業態度、課題提出
④知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	課題提出、考査

学期	単元・教材名	評価のポイント ①	②	③	④	—	指導と評価	評価方法
1学期	酸と塩基				◎		化学式やイオンの成り立ちについて理解する	課題提出、考査
		○			◎		酸と塩基の定義を問題を用い.ながら理解する	課題提出、考査
			○		◎		イオンの名前の作り方について理解する	課題提出、考査
	中和		○		○		中和の化学反応式の作り方を理解する	課題提出、考査
		○	○	◎	○		中和滴定を行い、量的関係を理解する	授業態度、課題提出
	酸化と還元	○			◎		酸化と還元の定義を問題を用いながら理解する	課題提出、考査
			○		○		酸化剤と還元剤について問題を用いながら理解する	課題提出、考査
			○		○		半反応式の問題を用いて電子の授受を理解する	課題提出、考査
	酸化数		○		○		単体、イオン、多原子イオンの酸化数の計算方法を理解する	課題提出、考査
		○		◎			実験を行い、酸化還元による金属の変化を観察する	授業態度、課題提出
2学期	酸化還元の復習		○		◎		酸化還元の定義を理解できているか問題を用いて確認する	課題提出、考査
	イオン化傾向		○		○		金属の酸化還元反応とイオン化傾向の関係性を理解する	課題提出、考査
		○		◎	○		銀鏡反応や過マンガン酸カリウムの酸化還元の実験を用いて、酸化還元による色の変化を観察する	授業態度、課題提出
	炭化水素		○		○		炭化水素の構造式や化学式の作り方を理解する	課題提出、考査
		○		◎	○		実験を行い、炭素数と燃焼の様子の関係性に気づく	授業態度、課題提出
	アルコール	○	○		○		アルコールの性質や酸化について理解する	課題提出、考査
	アルデヒド	○			○		アルデヒドの性質や酸化について理解する	課題提出、考査
	カルボン酸	○			○		カルボン酸の性質について理解する	課題提出、考査
		○		◎	○		実験を行い、炭素数と燃焼の様子の関係性に気づく	授業態度、課題提出
3学期	官能基の復習		○		○		官能基にはどういうものがあったのかを復習する	課題提出、考査
	エーテル	○	○				アルコールとの関係性を理解する	課題提出、考査
	エステル	○	○				生成方法について理解する	課題提出、考査
	高分子化合物	○		◎	○		高分子化合物の生成方法について理解する	課題提出、考査
	アミノ酸とタンパク質	○		◎	○		タンパク質の生成について、実験を通して理解する	授業態度、課題提出